

介護負担 最大3倍超 国民欺き「限度額」引き上げ狙う

一 桜 二 首相が、介護保険でも国民を欺いて利
用者負担増を進めようとしています。これ
まで介護保険給付の負担割合を引き上げる
たびに「高額介護サービス費（自己負担限度
額）」があるから負担が大幅に増えることにな
る」と書いてきたのに、その自己負担限度額
を最大3倍超に引き上げようとしているので
す。（佐久間亮）

介護保険制度の発定以来、介護保険の利用者負担は原則一割でし
た。しかし、安倍政権は「制度の持続可能性を高める」との口実で、一

の合計が一定金額を超えたとき、超えた分のお金が戻ってくる仕組みがある。これが「利用抑制」と呼ばれる仕組みだ。

対象に「例外」を導入。2割負担を導入した2014年の介護保険法改悪で原則1割を突き崩すと、17年の法改悪ではさうに3割負担まで持ち込みました。

高額介護サービス費は、介護保険を利用しで支払った際の負担額が

利用者の負担割合が引き上げられるたびに、介護保険の利用者

収入に応じて3段階の負担度額は、利用者の定所得以上の利用者をみてます。現在の高額

■利用者負担割合の引き上げ時の政府の説明

2割負担の導入時	<p>「負担割合は現在の2倍の2割負担となるが…高額介護サービス費が利用者負担の上限となることから、利用者負担が必ず2倍になるわけではない」(2013年9月25日の介護保険部会に提出された厚労省資料)</p>
3割負担の導入時	<p>「1割負担の方が3割負担になれば、ほぼ全員(高額介護サービス費の)上限にかかるので、(利用者負担は)単純に3倍にはならない。大宗を占める2割負担の方は既に上限にかかっている方が大半なので、2割から3割に負担を上げても、負担増は実質はない」(2016年11月25日の介護保険部会での竹林悟史・厚生労働省介護保険計画課長の説明)</p>

負担が必ず2倍になるわけではない」と主張。3割負担導入の際にも、利用者の大部分は既に2割負担で自己負担限度額に達してるので「3割に負担を引き上げても、負担増は実質はない」（竹林悟史・厚生労働省介護保険計画課長）と説明していました。

これが厚労省は、16日に開かれた社会保障審議会（厚労相の諮問機関）介護保険部会に、年収に応じて負担限度額を最大約14万円に引き上げる案を提示。3割負担が実際に導入された18年8月からです。

安堵政権は、月内にも審議会での議論を取りまとめ、低所得者の負担を軽減する「補足給付」制度の改悪などをセットで、来年の通常国会に改選法案を提出しようとしていました。